



久留米大学

御井図書館ニュース

No.98 2018年9月1日発行

図書館と博物館

比較文化研究所長 満園 良一

図書館法は「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存し、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と図書館を位置づける。その図書館と同様な機能を有する博物館も保存、展示、そして情報発信などを担う。が、大学に限らず学校教育に不可欠な図書館については、その利用に関する教育（情報リテラシー教育）を受ける機会が担保されつつ、利用者の利便性（つまりサービス）なども整備されており、御井図書館も例外ではない。

一方、学校に博物館となると途端に影が薄く、豊富な知的資産を有する大学ですら（九州地区で）九州大、鹿児島大、宮崎大、西南学院大、別府大などに限られる。博物館に類似した（小ぶり感のある）資料館は、本学にも旭町キャンパスの筑水会館1階「医学資料館」として存在し、見栄えが違うとは言え大学博物館と称する宮崎大、西南学院大の展示規模と大差ない。その博物館行政については制度に関する議論が先行していると聞くものの、大学博物館を見回すと図書館との有機的な関係を構築している大学も散見される。例えば、（ささやかな）博物館に加えキャンパス全体を博物館機能に見立てた広島大学は、図書館や文書館などとの3館共存の関係性と地域への情報発信を模索している。また、北海道大学の自然溢れるキャンパスにある大学博物館は、図書館同様、歴史的な建物における展示と情報発信に学外者の観覧者も目立つ。

学生に加え学外者にも利用される御井図書館は知的空間であると同時に、大学を知って貰える空間にもなる。であれば、図書館で学んだ知が博物館（本学であれば医学資料館）では具体的に「もの」に繋がる。この関係を踏まえて、90周年を経た本学でも先行している図書館に具体的な「もの」に繋がられる大学の地域博物館があっても良いと思う。私自身、比較文化研究所に席を置き、模索してきたことでもある。先日も、旭町であった日赤の水上安全法講習会の折、講習および控え室が筑水会館だったこともあり、その指導員の方々に「医学資料館に子どもを連れて来たいが、駐車場は？」と尋ねられ、直ぐには答えられなかった。

留学生の目から見た図書館

法学部法律学科 1年 閻 浩

私は、読書はずっと好きだが、久留米大学に入るまで、図書館に行くことがあまり多くなかった。初めて大学の図書館に行った時、図書館の一階で、図書館宣言というものを見た。その宣言は、簡潔に言うと、図書館は、基本的人権として知る権利をもつ国民のために、資料を収集・提供する自由と権限を有し、施設を提供し、利用者の秘密を守る義務がある、と言っている。これを初めて見たとき、驚いた。私はずっと図書館が知識を得る場所ではないと思っていた。図書館が広く国民のために知識を守るところだという考えは、私にとって新鮮で、それ以来図書館が好きな場所の一つになった。

大学の図書館で想像以上にありがたいのは、留学生用図書コーナーである。日本語学校に通っていた時、日本語を勉強するため、色々な参考書を買わなければならなかった。本の前に立って、好きな本があっても、お金の問題で選択の余地があまり多くなかった。留学生用図書は、留学生に周到に配慮して、必要な専門の本を整理しており、結構勉強に役立つと思う。一年生の時、この留学生用図書のおかげで、日本語の進歩が速くなり、大学の生活にもすぐ慣れることができた。特に私にとってありがたかったのは、これらの本の中に、日本語を勉強する本だけではなく、日本の文化、風俗や中学校の教科書まで含まれていることだ。中学校の教科書を通して、日本人の子供たちが一体どのように過ごしたのかを多少知ることができると思った。図書館でまとめて読むことができるのは、予想外の幸運ではないだろうか。

留学生としてもう一つ気に入っているのは、毎月の特集展示図書コーナーだ。法学部で学ぶ法律というものは、社会と緊密に関わる学問である。法学部の学生として、もっと勉強が先に進めば、法律だけではなく、いろいろな知識が必要だ。しかし、知るべき必要な知識が多すぎて、どうすればいいのか、逆にわからなくなってしまう場合も少なくない。自分も、日頃一体どんな本を読んだらいいかに困っていた。特集展示を初めてみた時、困っていたことが解決できたように思った。毎月特別なテーマがあり、範囲も広くて、様々な面で知識を学び取れるのだ。その中で、私が一番気になったテーマは、日本の子どもの貧困問題である。このような社会問題をよく考えて、法律に対する認識も深くなるのではないだろうかと思っている。さらに、自分の知識が充実するにつれて、学問に対する好奇心も徐々に大きくなって、勉強への熱意もわいてくるはずだ。このよい循環のおかげで、より良い自分になって行けるように思う。これも、なぜ本を読むべきかの理由の一つであろう。

図書館は学校の中にあるが、そこに包含される知識は、無限である。図書館の中では、今の自分がたどり着けない場所、分からないこと、身をもって体験していない人生など、きっと見つけれられると思う。だから、私はこれからもとても充実した図書館を利用したいし、みんなもそうであってほしいと思う。

『選書ツアー』を実施しました！

御井図書館では毎年、学部生を対象に選書ツアーを実施しています。1人5万円を上限に、自分が読みたい本・図書館に備え付けて欲しい本を店頭で実際に手に取って選ぶことができます。今年度は6月16日（土）にジUNK堂書店福岡店（メディアモール天神）にて実施しました。文学部・法学部・商学部生の計14名が参加し、約290冊の図書を選書していただきました。1階の選書ツアーコーナーへ排架していますので、どうぞご利用ください。

※参加した学生の感想

今回初めて選書ツアーに参加し、改めて色々なジャンルの本を見て回る機会となつてとても充実した時間でした。好きな作家の作品や大学の授業に関係している本もあり、今後読みたい本がますます増えました。このような機会があり、図書館に足を運ぶ時間も増えるのではないかなと思います。

以前と比べて広く大きい書店だったので、卒業論文に使える専門書等が選べてとても良かったです。せっかくの機会なので、次回以降もこちらであると選べる幅が広がると思いました。

金銭的な問題で買えなかった本を選ぶことができとてもよかった。時間も長くあってきちんとゆっくり選ぶことができた。すごく楽しかったのでまた参加したいです。

とても楽しかったです。もともと予定していなかったものや、気になって選んでしまったものも数多く、金額が一気に増えることもありました。また次の機会があれば、ぜひ参加させていただきたいと思っています。とても有意義な時間でした。

寄贈図書（学内関係者）

受入期間：2018年4月1日～2018年8月31日

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	「満洲国」資料集積機関概観	岡村敬二著	不二出版
浦田 義和	雄鶏通信：世界の文化ニュース 復刻版		雄鶏社
浦田 義和	書簡・補遺・年譜（矢内原忠雄全集:第29巻）	矢内原忠雄著	岩波書店
浦田 義和	ナショナリズム（現代日本思想大系:4）	吉本隆明編集	筑摩書房
浦田 義和	超訳論語	安富歩編訳	ディスカヴァー・トゥエンティワン
浦田 義和	空間の詩学	ガストン・バシュラール著/岩村行雄訳	思潮社
浦田 義和	修行千二百日：真の自己を求めて	市川覚峯著	PHP 研究所
浦田 義和	日露戦争百年：沖縄人と中国の戦場	又吉盛清編著	同時代社
浦田 義和	マラヤの日本軍：ネグリセンピラン州における華人虐殺	高嶋伸欣, 林博史編集・解説 /村上育造訳	青木書店
浦田 義和	琉球弧奄美の戦後精神史	里原昭著	五月書房
浦田 義和	哀号・朝鮮人の沖縄戦	福地曠昭著	月刊沖縄社
浦田 義和	カラーおきなわ今と昔	大田昌秀 [ほか] 解説	月刊沖縄社
浦田 義和	カラー沖縄のまつり	月刊沖縄社編集	月刊沖縄社
浦田 義和	カラー沖縄/ニライの海	西原松生, 神谷明仁編著	月刊沖縄社
浦田 義和	民俗（宜野湾市史:第5巻:資料編 4）	宜野湾市史編集委員会編	宜野湾市
浦田 義和	沖縄文化研究 29	法政大学沖縄文化研究所編	法政大学沖縄文化研究所
浦田 義和	近世琉球の租税制度と人頭税	沖縄国際大学南島文化研究所編	日本経済評論社
浦田 義和	これが沖縄戦だ：写真記録 改訂版	大田昌秀編著	琉球新報社
浦田 義和	中国東北沦陷十四年史纲要	王承礼主编/孙继武, 步平副主编	中国大百科全书出版社

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	夢を食う：素描荒畑寒村	堀切利高著	不二出版
浦田 義和	真実の先生：北方教育の魂加藤周四郎物語	戸田金一著	教育史料出版会
浦田 義和	父・中野正剛伝	中野泰雄著	白木茂三郎
浦田 義和	史説開拓判官島義勇伝	幸前伸著	島判官顕彰会
浦田 義和	矢内原忠雄：信仰・学問・生涯	南原繁 [ほか] 編	岩波書店
浦田 義和	安成貞雄その人と仕事	『安成貞雄文芸評論集』編集 委員会編著	不二出版
浦田 義和	日本列島縦断随筆	熊本日日新聞社編	昭和書院
浦田 義和	ヤポネシア私行 (南島叢書:59)	関根賢司著	海風社
浦田 義和	九州芸術風土記	劉寒吉著	国書刊行会
浦田 義和	黒潮の国で：木崎甲子郎著		沖縄タイムス
浦田 義和	韓くに風の旅：フォトエッセイ	藤本巧著	筑摩書房
浦田 義和	済州島：三多の慟哭史	韓東亀著	国書刊行会
浦田 義和	琉球弧の精神世界	安里英子著	御茶の水書房
浦田 義和	沖縄を彫る	金城実著	現代書館
浦田 義和	越境する民：近代大阪の朝鮮人史研究	杉原達著	新幹社
浦田 義和	36人の日本人韓国・朝鮮へのまなざし	舘野哲編著	明石書店
浦田 義和	日本人花嫁の戦後	伊藤孝司著	LYU 工房
浦田 義和	M/世界の、憂鬱な先端	吉岡忍著	文藝春秋
浦田 義和	沖縄の鍛冶屋 (南島叢書:46)	福地曠昭著	海風社
浦田 義和	主婦が神になる刻：イザイホー〔久高島〕	比嘉康雄著	ニライ社
浦田 義和	奄美のケンモン (南島叢書:9)	恵原義盛著	海風社
浦田 義和	熊本兵団戦史 2, 3	熊本兵団戦史編さん委員会 編	熊本日日新聞社
浦田 義和	防衛庁・自衛隊 改訂版	防衛研究会編著	かや書房
浦田 義和	自然との対話：無人島は生きている密林の叫び とささやき	高良鉄夫著	琉球新報社/ふくむ ら出版(発売)

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	満州・浅間開拓の記 : 長野県大日向分村開拓団の記録	大日向分村開拓団開拓史編纂委員会編	銀河書房
浦田 義和	戦後美術の原質	菊畑茂久馬著	葦書房
浦田 義和	フジタよ眠れ : 絵描きと戦争	菊畑茂久馬著	葦書房
浦田 義和	季節風 (照片雑文:[1])	島尾伸三 [著]	みすず書房
浦田 義和	与那国島 : 西浦宏己写真集	西浦宏己著	葦書房
浦田 義和	沖縄に生きる	大石芳野著	用美社
浦田 義和	沖縄の心を染める	藤崎康夫作	くもん出版
浦田 義和	未来へのノスタルジア : 喜納昌吉対談集	喜納昌吉著	ブロンズ社
浦田 義和	視覚的人間 : 映画のドラマツルギー (創樹選書:2)	ベラ・バラージュ著/佐々木基一, 高村宏訳	創樹社
浦田 義和	言語と精神 : 新装版 (現代思想選:2)	ノアム・チョムスキー [著]/川本茂雄訳	河出書房新社
浦田 義和	奄美の方言さんぽ 1 (南島叢書:30, 31)	恵原義盛著	海風社
浦田 義和	歴史小説の問題	大岡昇平著	文芸春秋
浦田 義和	理論と逸脱 : 文学研究と政治経済・笑い・世界	綾目広治著	御茶の水書房
浦田 義和	近代文学論の現在	分銅惇作編	蒼丘書林
浦田 義和	政治の陥穽と文学の自律	布野栄一著	不二出版
浦田 義和	証言・戦時文壇史:情報局文芸課長のつづやき	井上司朗著	人間の科学社
浦田 義和	疾風怒濤の巻 : 昭和初年-八年	中島健蔵著	平凡社
浦田 義和	物情騒然の巻 : 昭和九年-十一年	中島健蔵著	平凡社
浦田 義和	猪突猛進の巻 : 昭和十二年-十三年	中島健蔵著	平凡社
浦田 義和	雨過天晴の巻 : 昭和十七年-二十三年	中島健蔵著	平凡社
浦田 義和	戦後文学の回想 (筑摩叢書:3)	中村真一郎著	筑摩書房
浦田 義和	昭和の動乱と文学 (文学による太平洋戦史:1)	三枝康高著	有信堂
浦田 義和	文学の裾野	塩谷郁夫著	現実と文学研究会
浦田 義和	戦時下文学の周辺	高崎隆治著	風媒社

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	戦争文学通信	高崎隆治著	風媒社
浦田 義和	戦後文学とアヴァンギャルド:文学者の戦後責任	武井昭夫 著	未来社
浦田 義和	『種時く人』の潮流 : 世界主義・平和の文学	「『種時く人』の潮流」刊行委員会編	文治堂書店
浦田 義和	社会文学・一九二〇年前後	大和田茂著	不二出版
浦田 義和	『文芸戦線』とプロレタリア文学	『種時く人』『文芸戦線』を読む委員会編	龍書房
浦田 義和	批判と抵抗:日本文学と国家・資本主義・戦争	綾目広治著	御茶の水書房
浦田 義和	原爆文学研究 1, 2	原爆文学研究会編	花書院
浦田 義和	戦後の作家と作品	佐々木基一著	未来社
浦田 義和	敗戦期文学試論	横手一彦著	イー・ディー・アイ
浦田 義和	二十世紀旗手・太宰治:その恍惚と不安と	山内祥史 [ほか] 編	和泉書院
浦田 義和	人間太宰治の研究 2	長篠康一郎著	虎見書房
浦田 義和	葉山嘉樹論 : 戦時下の作品と抵抗	鈴木章吾著	菁柿堂
浦田 義和	干刈あがたの文学世界	コスモス会編	鼎書房
浦田 義和	久保栄の世界	井上理恵著	社会評論社
浦田 義和	賢治初期童話考	谷川雁著	潮出版社
浦田 義和	宮沢賢治論 : 幻想への階梯	奥山文幸著	蒼丘書林
浦田 義和	中島敦・光と影	田鍋幸信編著	新有堂
浦田 義和	漱石と世界文学	坂元昌樹 [ほか] 編	思文閣出版
浦田 義和	二人の先生 : 小田切秀雄・久保田正文	勝又浩[著]	イー・ディー・アイ
浦田 義和	鳥鳴き、魚の目は涙	小田切秀雄著	菁柿堂
浦田 義和	小川洋子 : 見えない世界を見つめて	綾目広治著	勉誠出版
浦田 義和	琉球弧の文学 : 大城立裕の世界	里原昭著	法政大学出版局
浦田 義和	志賀直哉 下	阿川弘之著	岩波書店
浦田 義和	戦後作家研究	佐古純一郎, 三好行雄編著	誠信書房

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	南島文学序論 (南島叢書:1)	藤井令一著	海風社
浦田 義和	古典漂泊	関根賢司著	書肆山田
浦田 義和	梯梧咲く島 (街路樹叢書:第 42 篇)	島袋盛慎著	街路樹短歌会
浦田 義和	沖縄・奄美南島俳句歳時記	瀬底月城著	瀬底月城
浦田 義和	沖縄俳句総集	野ざらし延男編	野ざらし延男
浦田 義和	耳よ翔べ (天荒合同句集:第 2 集)	野ざらし延男編集代表	「天荒」俳句会
浦田 義和	言葉の起源 : 近・現代詩小考	藤井貞和著	書肆山田
浦田 義和	淵上毛銭詩集	淵上毛銭著/前山光則編	石風社
浦田 義和	白菊の花 : 伊波冬子遺稿集	伊波冬子遺稿集刊行会編	若夏社
浦田 義和	沖縄の悲哭	牧港篤三詩/儀間比呂志画	集英社
浦田 義和	進一男詩集 続	進一男著	沖積舎
浦田 義和	風の言ふれ : 与那覇幹夫詩集	与那覇幹夫著	批評社
浦田 義和	琉球楽劇集真珠道(まだまみち)	大城立裕著	琉球新報社
浦田 義和	物語史への試み : 語り・話型・表現	関根賢司著	桜楓社
浦田 義和	物語表現 : 時間とトポス	関根賢司著	おうふう
浦田 義和	竹取物語論 : 神話/系譜学	関根賢司著	おうふう
浦田 義和	祭りの海 (南島叢書:2)	安達征一郎著	海風社
浦田 義和	世の中や	阿嘉誠一郎著	河出書房新社
浦田 義和	山の神さん	林郁著	社会評論社
浦田 義和	八十年目の前とうしろ	古倉節子著	近代文芸社
浦田 義和	板付け舟で都会(まち)に行く (南島叢書:90)	盛岡茂美著	海風社
浦田 義和	神聖喜劇 第 4 巻, 第 5 巻	大西巨人著	光文社
浦田 義和	母六夜 (大岡昇平短編集)	大岡昇平著	新潮社
浦田 義和	白い季節	大城立裕著	日本放送出版協会
浦田 義和	天女死すとも	大城立裕著	岩波書店

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	植民地の小僧		明石書店
浦田 義和	働きながら学ぶ		明石書店
浦田 義和	青春と大学		明石書店
浦田 義和	生きる模索		明石書店
浦田 義和	生きのびるために		明石書店
浦田 義和	血と骨	梁石日著	幻冬舎
浦田 義和	熱帯魚	吉田修一著	文藝春秋
浦田 義和	背光と影：沖縄文学同人アンソロジー		ロマン書房出版部
浦田 義和	物語空間：ことばたちの森へ	関根賢司著	桜楓社
浦田 義和	対象への接近（詩論・エッセー文庫:14）	秋吉久紀夫著	土曜美術社出版
浦田 義和	秋田	伊藤永之介著	無明舎出版
浦田 義和	主婦の恩返し	伊藤比呂美著	作品社
浦田 義和	南島の憂鬱	森田孟進著	沖縄あき書房
浦田 義和	下関を訪れた人々（午後叢書:3）	中原雅夫著	赤間関書房
浦田 義和	紅を抱いて：エッセイ集	仲若直子著	琉球真珠ギャラリー
浦田 義和	おきなわ評論（南島叢書:47）	関根賢司著	海風社
浦田 義和	琉球弧(うるま)の発信：くにざかいの島々から	高良勉著	御茶の水書房
浦田 義和	歴史随想：未来への想いをこめて語る	丹後杏一著	丹後杏一
浦田 義和	キジバトの記	上野晴子著	裏山書房
浦田 義和	ハイ・イメージ論 1	吉本隆明著	福武書店
浦田 義和	光り溢れる南の海よ	中村地平ほか著	作品社
浦田 義和	夢野久作の日記	夢野久作 [著]/杉山龍丸編	葦書房
浦田 義和	PWの手帳：比島虜囚日記	岡田録右衛門著	国書刊行会
浦田 義和	沖縄俘虜記	宮永次雄著	国書刊行会
浦田 義和	サイパン島の最期	菅野静子著	国書刊行会

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	暁の蜂起：豪州カウラ収容所	森木勝著	国書刊行会
浦田 義和	ある軍属の物語：草津の墓碑銘	河東三郎著	日本図書センター
浦田 義和	宮沢賢治：1896-1933	宮沢賢治著	筑摩書房
浦田 義和	坂口安吾：1906-1955	坂口安吾著	筑摩書房
浦田 義和	谷崎潤一郎：1886-1965	谷崎潤一郎著	筑摩書房
浦田 義和	色川武大：1929-1989	色川武大著	筑摩書房
浦田 義和	開高健：1930-1989	開高健著	筑摩書房
浦田 義和	石川淳：1899-1987	石川淳著	筑摩書房
浦田 義和	澁澤龍彦：1928-1987	澁澤龍彦著	筑摩書房
浦田 義和	稲垣足穂：1900-1977	稲垣足穂著	筑摩書房
浦田 義和	福永武彦：1918-1979	福永武彦著	筑摩書房
浦田 義和	泉鏡花：1873-1939	泉鏡花著	筑摩書房
浦田 義和	萩原朔太郎：1886-1942	萩原朔太郎著	筑摩書房
浦田 義和	江戸川乱歩：1894-1965	江戸川乱歩著	筑摩書房
浦田 義和	尾崎翠：1896-1971	尾崎翠著	筑摩書房
浦田 義和	菊池寛：1888-1948	菊池寛著	筑摩書房
浦田 義和	夢野久作：1889-1936	夢野久作著	筑摩書房
浦田 義和	岡本かの子：1889-1939	岡本かの子著	筑摩書房
浦田 義和	幸田露伴：1867-1947	幸田露伴著	筑摩書房
浦田 義和	堀辰雄：1904-1953	堀辰雄著	筑摩書房
浦田 義和	中勘助：1885-1965	中勘助著	筑摩書房
浦田 義和	柳田國男：1875-1962	柳田國男著	筑摩書房
浦田 義和	大岡昇平：1909-1988	大岡昇平著	筑摩書房
浦田 義和	寺田寅彦：1878-1935	寺田寅彦著	筑摩書房
浦田 義和	正岡子規：1867-1902	正岡子規著	筑摩書房

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	大佛次郎 : 1897-1973	大佛次郎著	筑摩書房
浦田 義和	中野重治 : 1902-1979	中野重治著	筑摩書房
浦田 義和	木山捷平 : 1904-1968	木山捷平著	筑摩書房
浦田 義和	樋口一葉 : 1872-1896	樋口一葉著	筑摩書房
浦田 義和	武田泰淳 : 1912-1976	武田泰淳著	筑摩書房
浦田 義和	志賀直哉 : 1883-1971	志賀直哉著	筑摩書房
浦田 義和	梅崎春生 : 1915-1965	梅崎春生著	筑摩書房
浦田 義和	林芙美子 : 1903-1951	林芙美子著	筑摩書房
浦田 義和	長谷川四郎 : 1909-1987	長谷川四郎著	筑摩書房
浦田 義和	川端康成 : 1899-1972	川端康成著	筑摩書房
浦田 義和	海音寺潮五郎 : 1901-1977	海音寺潮五郎著	筑摩書房
浦田 義和	島崎藤村 : 1872-1943	島崎藤村著	筑摩書房
浦田 義和	白井喬二 : 1889-1980	白井喬二著	筑摩書房
浦田 義和	幸田文 : 1904-1990	幸田文著	筑摩書房
浦田 義和	深沢七郎 : 1914-1987	深沢七郎著	筑摩書房
浦田 義和	織田作之助 : 1913-1947	織田作之助著	筑摩書房
浦田 義和	中野好夫 : 1903-1985	中野好夫著	筑摩書房
浦田 義和	富士正晴 : 1913-1987	富士正晴著	筑摩書房
浦田 義和	岡本綺堂 : 1872-1939	岡本綺堂著	筑摩書房
浦田 義和	渡辺一夫 : 1901-1975	渡辺一夫著	筑摩書房
浦田 義和	花田清輝 : 1909-1974	花田清輝著	筑摩書房
浦田 義和	戦争文学全集 1-2, 4-6, 別巻	平野謙 [ほか] 編	毎日新聞社
浦田 義和	大岡昇平集		新潮社
浦田 義和	中国への進撃 (昭和戦争文学全集:2)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	果てしなき中国戦線 (昭和戦争文学全集:3)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	太平洋開戦 (昭和戦争文学全集:4)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	南海の死闘 (昭和戦争文学全集:6)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	軍隊の生活 (昭和戦争文学全集:7)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	連合艦隊かく戦えり (昭和戦争文学全集:8)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	武器なき戦い (昭和戦争文学全集:9)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	青年士官の戦史 (昭和戦争文学全集:10)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	戦時下のハイティーン (昭和戦争文学全集:11)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	流離の日日 (昭和戦争文学全集:12)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	原子爆弾投下さる (昭和戦争文学全集:13)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	市民の日記 (昭和戦争文学全集:14)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	死者の声 (昭和戦争文学全集:15)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	知られざる記録 (昭和戦争文学全集:別巻)	昭和戦争文学全集編集委員会編	集英社
浦田 義和	李良枝全集	李良枝著	講談社
浦田 義和	伊藤永之介文学選集	伊藤永之介著/浦西和彦編	和泉書院
浦田 義和	金史良全集 1-4	金史良著/金史良全集編集委員会編	河出書房新社
浦田 義和	黒島傳治全集 第2, 第3	黒島傳治著	筑摩書房
浦田 義和	小熊秀雄全集 第2巻	小熊秀雄著	創樹社
浦田 義和	山之口獏全集 第3巻	山之口獏 [著]	思潮社
浦田 義和	大地の罅 : シベリア鉄道建設綺譚	李克異(袁犀)著/森脇英夫 [ほか]訳	徳間書店
浦田 義和	明洞のキリスト : 韓国キリスト者三十九人詩集	金元植編/曹紗玉, 森田進訳	教文館
浦田 義和	碾臼 新装版 (河出海外小説選:23)	マーガレット・ドラブル [著]/小 野寺健訳	河出書房新社
浦田 義和	文学はどこへ行くのか	日本社会文学会編	オリジン出版センター
狩野 啓子	芝居小屋から : 武田政子の博多演劇史	武田政子著/狩野啓子, 岩井 眞實編	海鳥社

寄贈者名	書名	著者名	出版者
小竹 一彰	When China unites	by Harry Gannes	A.A. Knopf
小竹 一彰	「五・四」運動研究史シンポジウム記録	中央大学人文科学研究所編	中央大学出版部
小竹 一彰	甦る橘樸	山本秀夫編	竜溪書舎
小竹 一彰	中国における共同体の再編と内発的自治の試み：江蘇省における実地調査から	宇野重昭, 鹿錫俊編著	国際書院
小竹 一彰	満鉄に生きて 新装版	伊藤武雄著	勁草書房
小竹 一彰	中国近代手工业史資料：1840-1949 新1版 第1巻-第4巻	彭泽益編	中华书局
小竹 一彰	上海職業さまざま	菊池敏夫, 日本上海史研究会編	勉誠出版
小竹 一彰	郁達夫伝：その詩と愛と日本	小田嶽夫著	中央公論社
城井 隆志	蒼霞草全集 1-16：精装 (福建叢書:第1輯2)	(明)葉向高撰	江蘇廣陵古籍刻印社
城井 隆志	楊文恪公文集 1, 2 (福建叢書:第1輯4)	(明)楊道賓撰	江蘇廣陵古籍刻印社
城井 隆志	明清論叢 第1輯-第3輯	朱誠如, 王天有主編	紫禁城出版社
城井 隆志	康熙起居注 第1冊-第3冊	中國第一歷史檔案館整理	中華書局
城井 隆志	雍正朝起居注冊 第1冊-第5冊	中國第一歷史檔案館編	中華書局
城井 隆志	北京通史 第1巻-第10巻	曹子西主編	中國書店
城井 隆志	中國海洋發展史論文集 第7輯-第10輯	吳劍雄主編	中央研究院中山人文社會科學研究所
城井 隆志	清末北京城市管理法規	田濤, 郭成偉整理	北京燕山出版社
城井 隆志	王状元集百家注編年杜陵詩史 上・下	(宋)王十朋集注	中文出版社
城井 隆志	杜工部草堂詩箋補遺	(宋)黃鶴集注/(宋)蔡夢弼校正	中文出版社
城井 隆志	杜工部詩集 上・中・下	(清)朱鶴齡撰	中文出版社
城井 隆志	杜律評叢/杜詩偶評	(日本)渡會末茂撰/(清)沈德潛撰	中文出版社

寄贈者名	書名	著者名	出版者
城井 隆志	杜詩雙聲疊韻譜括略/杜詩瑣證	(清) 周春撰/(清) 史炳撰	中文出版社
城井 隆志	筆記小説大観 第 1 冊-第 35 冊		江蘇廣陵古籍刻印社
関子 善信	税法概論 15 訂版	関子善信著	大蔵財務協会
畠中 昌教	2015 年度演習 IIB : 現地調査実習報告書 : 大分県九重町編	畠中昌教編	久留米大学経済学部畠中研究室
畠中 昌教	2016 年度地域事情研修九重コース : 地域事情研修報告書 : 大分県九重町編	畠中昌教編	久留米大学経済学部畠中研究室
畠中 昌教	農業と農産物から見た福島県郡山市 : 土地利用、農家女性、ブランド野菜、米加工	滝波章弘編著	首都大都市人文地理学研究室
葉山 アツコ	土地所有権の空洞化	飯國芳明 [ほか]編	ナカニシヤ出版
吉田 洋一	臼杵の近世絵図 : 臼杵市歴史資料館図録		臼杵市教育委員会
吉田 洋一	前野良沢	鳥井裕美子著	大分県教育委員会
吉田 洋一	史料・九州の種痘	青木歳幸著	青木歳幸
吉田 洋一	天然痘との闘い : 九州の種痘	青木歳幸, 大島明秀, W・ミエル編	岩田書院

※寄贈者名：敬称略。本学教員著書は、図書館 1 階 寄贈図書コーナーに排架。



2018 年度第 2 回 選書ツアー参加学生募集

御井図書館に置いて欲しい本を、書店で手に取って選ぶことができます！

日時 : 平成 30 年 10 月 6 日 (土) 10:00~12:30

場所 : ジュンク堂書店 福岡店 (メディアモール天神)

対象 : 文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部の学部生

定員 : 各学部 先着 10 名 (前期に参加していない学生を優先)

選書額 : 1 人 50,000 円まで

申込方法 : 平成 30 年 10 月 4 日 (木) までにメールにて申し込み

送信先 : mii-lib@kurume-u.ac.jp

件名 : 『選書ツアー申し込み』

本文に ①学籍番号、②氏名、③携帯電話番号、④メールアドレスを明記

特典 : 参加者には 1000 円分の QUO カードを進呈



新聞記事データベース

『^{きくぞう}聞蔵Ⅱビジュアル』(朝日新聞)と『ヨミダス歴史館』(読売新聞)の 同時アクセス数が期間限定で増加します!!

聞蔵Ⅱビジュアルとは？

朝日新聞社が提供する1879年(明治12年)の創刊号から今日まで、135年を超える紙面から約1500万件の記事・広告が検索できる日本国内最大級の新聞記事データベース。雑誌「AERA」「週刊朝日」の記事も収録。

実施期間：平成30年9月24日(月)～10月7日(日)

同時アクセス数：50(通常は2) ※御井キャンパス限定

URL：<http://database.asahi.com/index.shtml>



ヨミダス歴史館とは？

明治からの読売新聞記事1300万件以上がネットで読めるデータベース。「明治・大正・昭和」「平成」のほか、「The Japan News」「現代人名録」の計4つのコンテンツが利用できます。

実施期間：平成30年9月24日(月)～12月23日(日)

同時アクセス数：100(通常は1) ※御井キャンパス限定

URL：<https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>



この機会に授業等で是非ご活用ください。

※利用ガイドなど詳しくは御井図書館ホームページ-データベース一覧 でご確認ください。

URL：<http://www.std.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/databaselist.htm>

図書館利用状況（2018年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	合計
開館日数		29	27	30	30	27	143
入館者数	対前年同月比	838	294	99	-83	-1,686	-538
	合計	13,317	15,416	15,659	19,634	6,444	70,470
	対前年同月比	770	-203	-540	-334	-1,515	-1,822
	学内者	12,297	13,231	13,609	17,893	5,466	62,496
	対前年同月比	68	497	639	251	-171	1,284
地域住民登録・更新数	その他学外者	1,020	2,185	2,050	1,741	978	7,974
	対前年同月比	7	9	-3	-1	-1	11
貸出冊数(全体)	地域住民	88	63	50	35	34	270
	対前年同月比	104	-166	-300	-95	-73	-530
	合計	2,691	3,570	3,199	3,643	1,829	14,932
	対前年同月比	273	-8	-32	-144	88	177
	内、夜間	534	822	764	775	306	3,201
貸出冊数(学生)	対前年同月比	62	-35	49	-229	-21	-174
	内、土・日曜	339	352	387	399	256	1,733
	対前年同月比	148	-196	-407	-156	-84	-695
	合計	1,948	2,805	2,450	2,944	1,279	11,426
	対前年同月比	-74	-80	-175	-229	4	-554
貸出冊数(教職員)	内、夜間	401	610	548	609	238	2,406
	対前年同月比	8	-69	29	-174	-16	-222
	内、土・日曜	118	138	203	226	121	806
	一人当たりの貸出数	0.34	0.49	0.43	0.51	0.22	2.00
	対前年同月比	-140	-62	-45	-12	-73	-332
貸出冊数(その他学外者)	合計	369	384	296	297	228	1,574
	対前年同月比	-27	-20	-9	12	0	-44
	内、夜間	61	65	71	57	17	271
	対前年同月比	2	-6	1	-34	-23	-60
	内、土・日曜	32	61	28	45	24	190
AVライブラリー利用件数	対前年同月比	96	92	152	73	84	497
	合計	374	381	453	402	322	1,932
	対前年同月比	24	60	40	22	4	150
	内、夜間	72	147	145	109	51	524
	対前年同月比	52	40	19	-21	18	108
相互利用(文献複写)申込件数	内、土・日曜	189	153	156	128	111	737
	対前年同月比	9	10	-5	5	-4	15
	合計	22	37	25	21	4	109
	対前年同月比	5	-1	-4	-4	-5	-9
	学生	6	3	0	1	2	12
相互利用(現物貸借)申込件数	対前年同月比	4	11	-2	11	1	25
	教職員	16	33	24	20	2	95
	対前年同月比	0	0	1	-2	0	-1
	その他学外者	0	1	1	0	0	2
	対前年同月比	-27	2	-35	26	16	-18
相互利用(文献複写)申込件数	合計	32	67	71	79	48	297
	対前年同月比	-17	-4	-54	-8	-2	-85
	学生	19	36	33	38	16	142
	対前年同月比	-10	6	19	34	18	67
	教職員	13	31	38	41	32	155
相互利用(現物貸借)申込件数	対前年同月比	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0
	対前年同月比	7	8	25	-6	1	35
	合計	18	21	37	8	13	97
	対前年同月比	4	3	1	-4	2	6
相互利用(現物貸借)申込件数	学生	5	5	3	3	3	19
	対前年同月比	3	5	24	-2	-1	29
	教職員	13	16	34	5	10	78
	対前年同月比	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0

＜貸出冊数についての注記＞

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. 「夜間」とは17：00-21：00の夜間開館時間および閉館中の時間を指す。
*なお、4月1日-4月10日、8月10日-9月19日、12月25日-12月28日、2月1日-3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 学生一人当たりの貸出数は、平成30年5月1日現在の御井キャンパスの学生数 5,718人で算出。（留学生別科、聴講生は除く）

編集・発行 久留米大学御井図書館

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635
TEL : 0942-44-4015 FAX:0942-43-0348
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>